



『まもなく出水期！ 地域を守る水防団が訓練成果を披露』 水防工法大会で水防作業の技術競う

杭瀬川右岸6.4Kp付近（大垣市野口町地内）

- 水害の危険性が高まる時季を前に、大垣市・大垣輪中水防事務組合による大垣市水防工法大会が5月25日（日）、同市野口町地内の杭瀬川右岸で行われ、市内25分団の水防団員らが日頃の訓練成果を競いました。
競技種目は、水防の基本となる「土のう拵え工」「積土のう工」「月の輪工」の3種目。団員らは規律正しい動きで、水防技術のスピードと正確さを競い、細野揖斐川第二出張所長も審査員として参加をさせていただきました。この他、市内小学校10校の市少年消防クラブの児童による積み土のう工や岐阜県西濃建設業協会による重機を使った「大型土のう工」の実演も行われました。



開会式（来賓挨拶を述べる上野副所長）



積み土のう工の実演（市少年消防クラブ）



審査状況（細野揖斐川第二出張所長）



競技状況（水防団による土のう拵え工）



大型土のう工の実演（岐阜県西濃建設業協会）